

Sunday Style

イルミネーション こめた思い

クリスマス控え 各地で開始

もうすぐクリスマス。県内の各地で、イルミネーションの明かりがとまり始めた。支える人たちは、街を照らす光に様々な思いをこめる。

7日夕、JR新潟駅南口のけやき通り。約1キロの並木道を約26万個のイルミネーションで彩る「NIIGATA光のページェント」の点灯式で、近くの新潟市立笹口小学校の6年生40人の歌声が響いた。

「10年後も 20年後も けやき通りが 君を待ってる」

歌い終わると、集まった大勢の人たちから大きな拍手があがった。

曲名は「けやきの想い」。11年前からイベントの準備に携わってきた同小

の提案で今年、新潟市西区出身のピアニスト遠藤征志さん(40)＝東京都在住＝に依頼し、新たに作詞・作曲してもらった。

曲づくりを決めたのは6月。6年担任の和田藍子教諭(42)と児童らが話し合う中で思いついた。7月、和田教諭の知人だった遠藤さんに来てもらい、児童がけやき通りや光のページェントについて抱く思いを伝えた。卒業で離ればなれになるから、いつまでも思い出の場所にしたい。遠藤さんは、そんな思いを歌にした。

曲の完成は10月。児童らは歌の練習を重ねながら、近くの専門学校の協力を得て販売するマドレーヌを作ったり、電球にガチャガチャのカプセルを取り付けて様々な色に光るようにしたりと準備に奔走した。

松崎怜生さん(12)は「楽しかったり、ふざけて先生に怒られて反省したり。いろいろなことが心に残った」。



「光のページェント」の点灯式で歌う笹口小の6年生＝7日、新潟市中央区



「光のページェント」11月7日、新潟市中央区

友との絆ずっと ■店舗減少 歯止めを

■県内の主なイルミネーション(個人や企業単独のものは除く)

グローイングイルミネーション	いくとびあ食花(新潟市中央区)	～19年1月14日
ウィンターイルミネーション	大手通(長岡市)	～19年2月14日
街路樹イルミネーション	見附市役所周辺	～19年2月14日
イルミフェスタ	水原本町商店街(阿賀野市)	～19年1月6日
NIIGATA光のページェント	JR新潟駅南口周辺(新潟市中央区)	～19年1月31日
中条駅前広場イルミネーション	JR中条駅(胎内市)	～19年2月末

それぞれが店を電飾で彩る。

商店街の店舗は、8年前は50を超えていたが、いまは40ほど。減少に歯止めをかけようと、4年前に国の補助金に応募したのを機に始めた。

当初から実行委員長を務める渡辺洋一さん(61)の店は和菓子店にもかかわらず、光るトナカイやキティちゃんなどで華やかに飾られている。ホームセンターなどで調達した電飾を、妻や長男とともに飾った。「年賀状にした

い」と撮影する人もいるという。

大型店への客の流出や後継難。商店街を取り巻く状況は厳しいが、今後も続けるつもりだ。「まだがんばっているぞ」と発信したい。

長岡市の南部工業団地にある特殊金属メーカー「トクサイ」(従業員86人)では、通りから見えるように木を飾ったり、クリスマスツリーをかたどったモニュメントを置いたりして来客や通行人の目を楽しませている。

周囲の企業が取り組んでいたこともあり、十数年前に始めた。だが、リーマン・ショックによる不況で自粛モードが広がり、すぐに中断。希望退職を募るなど厳しい時期を経て、社内で復活を望む声があがり、昨年に再開した。

電飾の更新などで毎回50万円以上かかる。それでも、飾り付けることで従業員の一体感が高まるという。イルミネーションは今年28日まで。担当する阿部清一さん(56)は「みんなで協力してやって光って、それを見たり写真に撮ったりしてくれるのを見ると、すごくうれしいんです」。(高浜行人)



電飾で飾られた和菓子店「渡計」阿賀野市中央区2丁目

新潟総局
〒951-8133
新潟市中央区川岸町1-47-2
☎ 025-266-2151
fax 025-266-2155
mail niigata@asahi.com

長岡支局
〒940-0061
長岡市城内町3-3-1
☎ 0258-35-1234

上越支局
〒943-0805
上越市木田2-1-1
上越セントラルビル5階
☎ 025-526-6333
佐渡 ☎ 0259-27-3516
柏崎 ☎ 0257-22-2665

きょうの天気

6～12時 降水確率 12～18時

10	新潟	10
10	村上	10
0	長岡	10
0	高田	10
20	相川	20

新潟	高田
南南東	北
村上	相川
南	南

温度 10℃